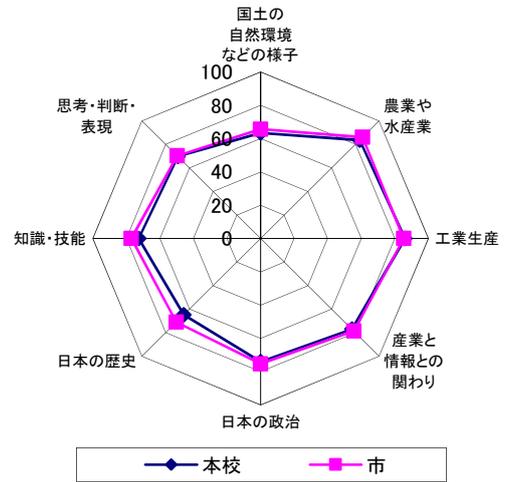


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	63.4	65.7	67.0
	農業や水産業	83.6	86.1	77.5
	工業生産	86.1	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	77.0	78.6	69.6
	日本の政治	74.0	75.2	65.8
	日本の歴史	64.8	71.1	69.1
観点別	知識・技能	72.6	77.0	72.8
	思考・判断・表現	69.7	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	市の平均正答率に比べ、低い。 ●日本周辺の海洋名については全国の正答率を24ポイント下回っている。また、森林を守るための干ばつについて理解を問う問題の正答率は、市や全国の正答率を下回っている。	・地図と海洋を関連付けて覚えられるよう、位置を地図帳や地球儀、各種資料で調べて白地図などにまとめる学習を繰り返し指導していく。また、国土の位置が理解できるよう、複数の地図を用いて指導していく。
農業や水産業	市の平均正答率に比べ、低い。 ○圃場整備の資料に着目して、米作りの生産効率について考え、表現する問題についての正答率は市や全国の正答率を上回っている。 ●食料生産に関する地図を読み取る問題が市の正答率を下回っている。	・資料を多面的に読み取る力が弱いと、資料の読み取り方を指導するとともに、今後も資料を見て考え、学習して分かったことやこれまで学習したことを使って自分の言葉でまとめる活動を継続していく。
工業生産	市の平均正答率に比べ、やや高い。 ○工業製品の種類については、9割以上の児童が十分に理解している。	・引き続き学習内容と身の回りにある工業製品とを関連付けて考えられるよう指導していく。
産業と情報との関わり	市の平均正答率に比べ、やや低い。 ○情報の正しい受け取り方については、9ポイント以上の児童が十分に理解している。 ●新聞やテレビなどの情報産業の役割についての理解を問う問題の正答率は、市の正答率を下回っている。	・図書館などにある児童に身近な情報ネットワークの役割を理解できるように、引き続き重点的に取り組み、実体験の中から理解の定着を図る。
日本の政治	市の平均正答率に比べ、やや低い。 ○日本国憲法の内容についての理解を問う問題の正答率は、市や全国の正答率を上回っている。 ●国会の働きについての理解を問う問題の正答率は、市の正答率より下回っている。	・教科書の内容だけではなく、新聞やテレビなどのメディアや視聴覚教材を利用し、児童が生活と結び付けて、政治の仕組み等を理解できるような指導を工夫する。
日本の歴史	市の平均正答率に比べ、低い。 ○鎌倉時代の将軍と御家人の関係については、8割以上の児童が理解している。 ●平安時代の政治について理解を問う問題の正答率は、市や全国の平均を大きく下回っている。	・歴史の流れや背景、歴史上の人物の思想などを意識しながら、関連資料の一つひとつを丁寧に学習していく必要がある。特に歴史上の大きな事件や出来事の前については年表でも確認するなど、重点的に指導し整理していく。